

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
渋川市	子持・小野上地区(子持・小野上集落)	令和3年3月30日	令和6年5月15日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1104.5ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	744.7ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	378.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	270.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.8ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	52.8ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・地区内の70歳以上の農業者の耕作面積は253.8haあり、うち後継者がいない耕作面積は202.6haとなっている。今後、中心経営体が引き受ける意向のある面積は28.7haであり、新たな担い手の確保が必要である。 ・山間部が多い地域であり、特に小野上地域は狭小農地が多いため、効率的な営農ができなく、集積を阻んでいる。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の認定農業者等の担い手へ集積を行うことで、農作業の効率化と生産性の向上を進める。
小野上地域は中山間地域等直接支払交付金事業を活用して、農地を維持していることから今後も継続していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

人・農地プランの座談会を定期的に行うことにより、地域内の農家や農地情報の共有に努め、認定農業者等への農地集積を進める。
地区の集落営農組織、認定農業者、関係機関で連携し、新規就農者等の若手農業者を育成する。
中山間地域等直接支払交付金事業を活用している地域は農地所有者や他職種の定年退職者等の組織の後継者として育成していく。